

議会運営委員会会議録（令和3年12月17日）

出席委員 岩城委員長 竹原副委員長 大浦委員 古沢委員 開田委員 中川委員
高橋議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

説明のため出席した職員 石川副市長 石坂総務部長 奥村財政課主幹

職務のため出席した事務局職員 藤名局長 中田係長

午前9時00分開会

【岩城委員長】 これより、議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付してあるとおりであります。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。大浦委員、竹原副委員長にお願いいたします。

日程第2 議案の追加提案等について議題といたします。

当局から、本定例会に提案している議案第66号 一般会計補正予算（第5号）の成立後に補正予算（第6号）を追加提案したいとのことあります。

当局から説明をお願いいたします。

【石川副市長】 今ほど委員長から申し上げられたとおり、最終日に追加議案があるので説明をさせていただきたいと思っております。

案件につきましては、今ほども委員長から申し上げられました。子育て世帯給付金などを含む一般会計補正予算でございます。

概要につきましては、この後担当から説明いたしますが、その前に、子育て世帯臨時特別給付金につきまして、昨日の本会議の中でも中川議員、竹原議員等の質問があり、そこでいろいろ議論等があったわけでございます。滑川市につきましては、子ども第一主義ということで所得制限なしにしたいと考えておりますので、その分も合わせて補正をしたいと思っております。これは所得を調べなくてもいいという事務の省力化にもつながるということでもありますので、そういうふうにやりたいと考えております。

詳細につきましては担当から説明を申し上げます。

【奥村財政課主幹】 おはようございます。

予算のほうの概要をお願いいたします。

議案第74号、令和3年度の一般会計（第6号）となります補正予算の概要について申し上げます。

今回の補正額は5億6,580万1,000円となりまして、補正後の予算額は154億9,677万5,000円となるものでございます。

内容について申し上げます。いずれも新型コロナウイルス対策に係るものでございます。

まず初めに、生活困窮者等援護費467万6,000円につきましては、生活困窮者の自立支援金の支給でございまして、こちらは収入が減少されまして、社会福祉協議会が実施されまじ総合支援資金の貸付けを利用しておられる方が対象となります。

続いて、生活支援臨時特別給付金給付費2億3,971万6,000円につきましては、住民税非課税世帯等への世帯当たり10万円の給付を行うものでございます。

それから、子育て世帯臨時特別給付金給付費でございまして、補正額は3億2,140万9,000円でございます。11月22日に専決処分させていただきました中学生以下の対象者に対し5万円を追加給付するもの、それから、16歳以上の対象者1人当たり10万円の給付をするもの、冒頭で副市長が申し上げました市独自の支援策といたしまして、国の基準を満たさない方々に対して1人当たり10万円の給付を行うものでございます。

以上でございます。

【岩城委員長】 では、ただいまの説明について何か質問ありますか。

【竹原副委員長】 石川副市長、昨日の本会議で私への答弁のときには、この所得制限の撤廃については国の指示に従って撤廃しないという発言があったんですけど、心変わりされたということですか。

【石川副市長】 ご意見を伺っておきますと申し上げまして、その後、市長等も含めて検討いたしました。

【岩城委員長】 そのほか。

【古沢委員】 一連のこれも含めて、昨日も言われた年内支給ということは間違いありませんか。

【石川副市長】 年内支給につきましては児童手当をもらっている方でございまして、5万円を用意をしていたんですけども、10万円ということで、その準備を進めております。

高校生につきましては、口座が分からないので、申請をしていただかなきゃならない。ただ、所得を調べないということになりますと、お支払いするのは早くなるだろうと思っております。議会が終わり次第、該当の方に案内したりPRをしていきたいと思っております。

ます。実際には多分年は越えると思います。

【古沢委員】 ここに書いてあるあれで言うと、16歳以上ということになるのかな。

【石川副市長】 以上と、中学生以下の所得オーバーの方。

【古沢委員】 おおよそ160名だね。

【石川副市長】 おおよそ160人になります。

【岩城委員長】 そのほか。

【大浦委員】 所得を調べた場合、どれぐらいの時間がかかるんですか。

【石川副市長】 機械で抽出をしますのです。例えば、申請があったときに、その方を調べるわけです。それは一件一件になるか数件まとめてやるか、そのときの事務の作業によりますけども、かなりとまではいかないと思いますけれども、いろんな時間は要すると思います。

【大浦委員】 国のほうもこういった給付をする際に、スピード感を持ってということでも所得制限を設けなくてやるんですけども、今の段階でこの給付に関してそうやっても、これがいつ終わるかも分からない。また出てきた場合に、ずっと所得制限を設けなくてやり続けるということが果たしてできるのかなというので、一度そういったものも明確にどれぐらいかかるのか調べてもいいのではないかなと。考えとして。

【石川副市長】 これはいろんなケースがあるだろうと思っております。大きな前提は、滑川市は第2子保育料の場合でも親の収入によって子どもの区別をしないということを経典的な考え方としております。これが大きな要因でございます。

それから、例えば極端に市の財政が圧迫されるほどの金額というのはなかなか、そういう場合はできないだろうと思っております。今回の場合は、所得制限以内が5,000人余り、超えた方は160人ほどと見込んでおりますけども、そういう面では、市の今の財政の中で負担できるということで、こういう結論になったわけでありませう。

【岩城委員長】 そのほかありますか。

(質疑する者なし)

【岩城委員長】 では、当局からその他で何かありますか。

(特になし)

【岩城委員長】 ご苦勞さまでした。

では、当局の皆さん、退席を願います。

(当局退室)

【岩城委員長】 それでは、日程第3 定例会の日程の追加について事務局から説明してください。

【藤名局長】 それでは、日程の追加についてでございます。

お配りしてございます日程の変更案をお願いいたします。

先ほど説明がありましたように、本定例会に提案している一般会計補正予算（第5号）の成立後に、補正予算（第6号）を追加提案したいとのことであります。

最終日に現在提案されている8議案を採決した後、追加提案として一般会計補正予算（第6号）を上程議題とし、一連の流れを日程に追加したいと思います。

追加提案についての提案理由説明、そして全体委員会での補足説明を受けた後、暫時休憩して、総務文教消防委員会、産業厚生建設委員会に付託し、その後、本会議を再開し、委員長報告、質疑、討論、採決を行いたいと思います。

最終日の議事の流れにつきましては、最終日の本会議前に開催する議会運営委員会と全員協議会で再度説明いたします。

なお、議案の配付は最終日の追加提案時となります。

また、今ほどの子育て世帯の臨時特別交付金に関し、内容や事務の進め方などを当局より説明したいということでもありますので、本日17日、この議会運営委員会終了後に総務文教消防委員会を日程に追加して開催したいと思います。17日に総務文教消防委員会を日程に追加しております。

以上、日程の追加についてよろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

【岩城委員長】 では、ただいまの説明についてご質疑ありますか。

（質疑する者なし）

【岩城委員長】 それでは、最終日に追加議案として補正予算が提案されるということでもありますので、今ほどの事務局の説明のとおり、日程を追加して進めたいと思います。

では、日程第4 その他に入りたいと思います。

まず、委員の皆さん、何かありますか。

【開田委員】 これは私だけの考えか思いがちちょっと分かりませんが、一般質問に対して少しだけ。例えばです。安達議員の質問の中に「のる my car」の質問がいっぱいあるんですが、安達議員は「のる my car」の入札とか、仕事に関わってちゃおられんがけ。

【岩城委員長】 この件についてはいろいろとあちこちから話がありましたので、局長、

ちょっと説明をお願いいたします。

【藤名局長】 安達議員から「のる my car」についての質問が出てきて、事務局でチェックする際も、これはもしかして利害関係者の利益誘導といった感じの質問になるんじゃないかと思って本人に聴取しましたところ、議員になった契機に市役所と契約しているものはみんな解除したと。

あと、入札等の指名願い、「のる my car」とか、そういった運送業の契約、指名願いを受けておるんですが、それについても今、取下げの手続をしておるとお伺いして、過去においては利害関係者だったかもしれんけど、今は利害関係はないと判断して、事務局のほうでは問題ないだろうということで受付をしたということでもあります。

【高橋議長】 私もこの質問通告が出てきた時点でそのような危惧をしましたので、事務局と共に確認をして通告を通したという状況であります。

【岩城委員長】 ということは、これからは入札関係の参加者、そしてまた市とのもろもろとしたものはやらないということだと思うんですが、開田委員、どうですか。

【開田委員】 分かりました。

【岩城委員長】 いろいろ疑念の持たれることのないようにということでございますので、そういうチェックも必要かなと思います。今回に関してはそういうことでありますので、このまま質問を取り扱いたいと思います。

【古沢委員】 お互いに気をつけたいと思うんですけれども、私もそういう嫌いがあるので自戒を含めてですけれど、質問中に通告から次第に離れていく傾向が多く見られるなど思って、当局も困るかなという危険がちょっとしているので、お互いに気をつけたいなどと思っています。答弁の中に出てきたことについて聞くというのはいいんですけど、どんどん離れていく傾向が時々見られるので、お互いに気をつけたいと思います。

【開田委員】 ごめんなさい、もう一ついいですか。例えば、私のところは田んぼとかしているんですけど、農地について質問に上げてしまったけど、これは全体的でいいんですか。自分が田んぼをしているからとか、放棄田は持ちませんが、こういうのはどういう感じなんですか。

【岩城委員長】 私のところは田んぼを持っているけど、田んぼの質問を入れているのはいかんかねという。

【藤名局長】 契約とか利益の誘導とかに関しての利害関係ですので、それは大丈夫だと思います。

【開田委員】 一般的な質問でいいんですね。

【藤名局長】 はい。

【竹原副委員長】 市に田んぼを買ってくれとか。

【開田委員】 なん、言うが今。畑買われって言うが。うちのじゃないよ。

【岩城委員長】 私も最近聞いておりましたら、議長をしているときに、通告外になっていっているなという感じもあるんですが、当局者が手を挙げるものだからいいのかなという面もあったりしてあれなので、お互い気をつけていきたいなと思いますので、またよろしく願いいたします。

【中川委員】 私の昨日の質問の中で、警察署の合併再編、統合問題が出ているんですが、滑川市議会として、統合されても市内に警察署を造ってほしいという要望を、市長も言っておられたけど、ぜひともまた議会として県へ要望を出したらどうかと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

【岩城委員長】 また議長とも取り計らって表明せんらんちゃね。

【竹原副委員長】 中川さんのお話は、昨日の説明では分庁舎はおのおの置くという話だったので、やっぱり全体の経緯を聞いてから、本署機能をどこに置くかというお話なので、分署はあると。分署はあるけども、38年たって老朽化が見込まれるから、今の警察署を別で分庁舎を新たに建ててもらって本署をどこに持っていくという話と、どこかかんの統合したところをどこどこに持っていきましょうという議論だと思うので、それをちゃんと県と話しした上での要望になると私は思う。

【中川委員】 それでも、あの委員会では現在ある警察署は残して、そこを地域の、要は免許証の書換えとか、あるいは青パトの基地にするとか、そういったことにしたいと完全に言っているんですね。残すと言っておられる。その代わり、例えば統合した署はどこかに新たに造るということを想定されていると思う。したがって、新たに造る署でないという意味がないと思う。単なる分署でちゃ、単なる青パトの基地になっているだけで、警察官が何人おるのか分からん状態になると思う。

そういうことで、ぜひとも本署自体を滑川に置いてほしいという要望なんです。上市とか魚津とかいろいろ出ているけど、下手すればまた取られるような気がするから、早く手を打っておかないと思う。

【岩城委員長】 要は、本署機能を持ってきてほしいという要望です。また議長と県のほうに調べて、また皆さん方にお願ひせんらんこともあると思いますので、分かりました。

また議長もお願いしたいと思います。

【高橋議長】 はい、分かりました。

【岩城委員長】 事務局、何かありますか。

【藤名局長】 特にありません。

【大浦委員】 これも私、前回の一般質問で話をさせていただいたんですけど、議選の監査委員、これはすぐにというものじゃないんですけど、皆さん方がどうそれに対してお考えなのか一度私自身も知りたいなという思いがあります。これまで予算委員会、決算特別委員会等も、やはり監査委員が抜ける状況で、15人が多いか少ないかはそれぞれ議員の考えがあると思うんですけども、私はできれば監査委員をなくして、なるべく多くの議員で特別委員会ですっかりチェックしていくのも一つなのかなと思いますし、監査ですっかりと議会費もチェックしてもらえば、議会の透明性も市民に図れるんじゃないかなという思いがありますので、一度議員さん方がどういう思いをお持ちか聞かせていただければなと思います。

【開田委員】 ついこの間まで監査委員をしておりました。監査委員をしている中で、例えば、一般の方の学識経験者監査委員というのは、行政の中がなかなか見えなくて、例えば子どものための、何というか、保育園、幼稚園なんかは見えているんですけども、ことばの教室とか、そういう別棟の子どもを育てる部分なんかは、こういうもんしとるだけやろと言って終わってしまう。そうじゃなくて、議会としてこれが必要なんだというバックアップも私は必要じゃないかなという思いを非常に持ちました。

ですから、流れとしては、議会からの選任監査委員はなくてもいいんじゃないのかというのは私も聞いています。だけど、一般の学識経験者の人は公会計に対しての理解がなかなかできないということも話をしておられますので、流れがそれだからということよりも、役所の中身、公会計の在り方が分からないという意見がよくありますので、そこら辺はやっぱり慎重にすればいいんじゃないかなと思っています。

【岩城委員長】 今どうのこうのと言っているけれどもあれなので、どこかでそういう場を設けてみんなで議論したいなと思います。この任期中にどうか。

【開田委員】 そうですね。

【岩城委員長】 またお願いいたします。

あとないですか。

(質疑する者なし)

【岩城委員長】 では、本日の議会運営委員会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

午前 9 時 22 分閉会